

農繁期

レポート

令和2年 8月号

バードライフファーム

オーナー (一般)バードライフ・インターナショナル東京

水田面積 25.0アール

保証量 玄米1125kg

形態品種 特別栽培コシヒカリ



生産者 米風土鳥取の皆さん

非常に暑い夏が来てしまいました。
これ以上暑くなると、コシヒカリでは栽培が厳しくなる暑さです。
うまく乗り切ればよいお米になりますが、イノシシという害獣も元気になっているので、今年はやる事がいっぱいあります。
あと1か月手を抜かず、結果を出したいと思います。

8月の作業内容と稲の成長

1. カメムシ防除

お米にとって天敵であるカメムシは草がある所に発生します。稲の穂が始めると水田内に侵入し、籾に口針を突き刺して汁を吸ってしまいます。それを防ぐためにこの時期に畔に近い水田周辺に最小限の薬を撒いて対応します。



2. 畔の草刈り

最後の草刈りをこの時期に行います。特にカメムシを水田内に飛散させないためにも発生源である畔の雑草は刈り取る必要があります。刈っても刈ってもすぐ生えてくる雑草との闘いは毎年農家さんを悩ませています。



出穂(しゅつすい)

茎の中で籾(もみ)が集まり「穂」が出てくる時期を「出穂期」と呼びます。出穂後に稲は葉で光合成をしてブドウ糖を生産し、穂に送り溜めたものが私たちが食べているお米です。そのため、出穂後の晴天は非常に重要になります。



光合成と水の管理

お米の収穫量に大きく左右するのは光合成です。葉っぱでしっかり光を浴び、土中から水分を吸い上げ、お米を作り上げていきます。また、間断かん水といって数日ごとに水を出し入れし、酸素供給と根の発育を促進させています。

